

# 光輝くまで



足羽ワークセンターは知的障害のある方の就労を支援しています。  
今回は新たに就職を目指しているHさんと、一般就労して五ヶ月が過ぎた  
Kさんの頑張っている様子を紹介します。



実習中のHさん

Hさんは、実習から仮雇用、最終的に雇用という流れになります。七月の時点でHさんは仮雇用の段階まで進んでいます。

実習開始前からHさんは作業能力も高く、人一倍熱心に取り組んでいる様子も多く見られました。

そして、実習が始まつて就職に対する気持ちも一層強くなり、自分で意識的に変化をしようとする姿勢も見られました。現在Hさんは就職に向けてまつすぐに進んでいる最中です。

ここでHさんにジョブコーチ（第一号職場適応援助者）として支援に入っている職員に話を聞きました。

Kさんは素直な性格の持ち主で現在働いている職場でとても頑張っています。平成二十一年四月一日から就労され、早くも五ヶ月が過ぎました。

## 就職への道

現在、足羽ワークセンター第2事業所足羽サポートセンターを利用されているHさんは、就職を目指して企業内で実習をされています。一般的な就職の流れは、実習から仮雇用、最終的に雇用という流れになります。

Hさんは、多種多様の作業を覚えていきました。普段の生活からも、言葉遣いや、整理整頓といったことを積み重ね行い、先を見据えた行動ができると感じています。

彼の夢である就職してから親孝行をするという目標まであと一步のところまで来ています。

木下晋一  
ジョブコーチ

Hさんにとって、全く未経験の職種で右も左も分からぬ状態でのスタートでした。しかし、就職に対する思いが強く、作業能力も高いHさんは、多種多様の作業を覚えていました。

普段の生活からも、言葉遣いや、整理整頓といったことを積み重ねを行い、先を見据えた行動ができると感じています。職場の方からの指示も素直に受け取っています。職場の方とコミュニケーションをとりながら仕事をする所だと感じています。

最初は職場でも緊張してしまい、うまく話すことできませんでしたが、今では自分の考えも伝えながら仕事ができています。彼の良いところは素直に話を聞き、周りの人たちと話をしていました。職場の方からの指示も素直に受け取っています。職場の方と大きな声で返事をし、一つひとつ話をしっかりと聞いています。それが彼自身の中でも仕事を覚えるのに役に立つたのではあります。その性格のおかげで、職場での信頼も厚く、若手のホープとして期待されています。実習に入る前はどうなるか心配でしたが、今は安心して見守ることができます。

木下晋一  
ジョブコーチ

橋本裕樹  
ジョブコーチ

今回紹介した二名の方は、それぞれの職場で一生懸命に働いています。その頑張っている姿は、見た方の心に輝きを与えます。その輝く姿が新たな光となり、就労を目指している他の利用者の方を導いてくれることと期待しています。



久しぶりの再会の二人(左/橋本さん、右/Kさん)